

曝涼 明 打 夏 螢 巴里祭や読み即秘する文ひとつ 螢 箱 夜 不器用に生きて器用に田草引 庭 水といふ文字の 決 芥 夏霧の霽れゆく八ヶ岳の展開図 短 角打ちの肩を寄せ合ふ夕立かな からす瓜うそうそ嘘と花ひろげ 境へ沈 袋 庭に己を置きて仕上げけ 師来て緑蔭 笛 盛のがらんどうなるからだかな 梅雨 夜の夢どこまでも知らぬ道 袋似てる似てな 水 万六千日俎板かわく暇なし 易 ょ 雲 水 なれ たか 0) り南 と男 ぎや女物とは Þ ゃ 本に静 Þ 日 両 沸 瞬 む夏至の陽赤すぎる ぶ ばたましひ仮寝する 舟すでに沖がかり 本 0) 瓜 玉 騰 るほ 間 袋 駅 製 K H めくや水 か の一花沖縄忌 小さくして帰 集へりあめんぼ とい な威の どに哀 傘 高 図 0) に始発無 度 開きけり 一途な い三姉 頼り無 に 成 あ し 平 長 ŋ < 期 П 力 妹 < < ぬ う ŋ ŋ 枇杷木 中西 中村 栗坪 菅原 千田 細川 高木 大畑 峰崎 町山 宮岡 本池美佐子 川崎登美子 朝長美智子 塩野谷慎吾 広海あぐり 三好千衣子 須賀ゆかり 塙 誠一郎 矢崎すみ子 浜田はるみ 川高郷之助 平松うさぎ 大沢美智子 昭太郎 嘉久 洋子 重幸 和子 善昭 成規 公孝 恒弘

沖 の 水 脈

青

葉木菟ねむれば一と日命減る

荒井千佐代

釣

り上ぐ

る鮎に

山影動きけり

能美昌二郎

けふ夏至の暮れて瓶・缶分くる音

千田

百里

美奈子

スカイツリーの根張のあたりより夜涼